

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-229	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 510	小学保健 5・6年		

1 編修の基本方針

自らの人生を力強く歩める力を身に付け、 人と共に生きる社会を形成する

環境や社会情勢が大きく変化しているなか、これからの社会を生きる児童にとって、意思をもって自らの進む方向を見据え、主体的・協働的に課題解決に取り組む経験を重ねることは重要です。保健を学習することで、生活の質の向上を図るとともに、周りの人の健康や安全にも目を向け、共に支え合う関係性や環境づくりを実行していく力を育むことが求められています。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、児童が周りと協力しながら自分の未来を創造していくために必要な資質・能力の育成を目指して編集しました。

1

個別最適な学びと協働的な学びを通して 課題解決する力を育む教科書

主体的・対話的で深い学びの実現

自分の生活を振り返り、健康・安全における自己の課題を見つけて課題解決に向けて思考・判断する力と、他者と共に考えたり伝え合ったりする協働的な学びを通して課題を解決していく力を、育むことができる教科書を作成しました。

2

自己実現の喜びを実感できる教科書

意欲的で自発的な学びの実現

保健の学習を通して、自分の健康課題に気づき解決していく楽しさや喜びを味わいながら、自己実現を目指していくことができるように、様々な工夫をしました。

3

今必要な知識・技能が身に付く教科書

知・徳・体の調和に根ざした学びの実現

現代的な課題を重視して健康・安全についての知識と技能を精選し、現代を生きる児童にとって必要な情報を的確に身に付けることができるように構成しました。

1 個別最適な学びと協働的な学びを通して 課題解決する力を育む教科書

児童が自分の健康課題に気づき、その解決に向けて自らすすんで学び、考える力を育成できるような工夫をしています。(個別最適な学び)

① 学習の流れが一目でわかる紙面構成

「時間を見開き」ページで学習することを基本とし、「導入」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」を、学習の流れに沿って配置しています。全単元統一されたデザインで、学習の流れが一目でわかるように工夫しました。

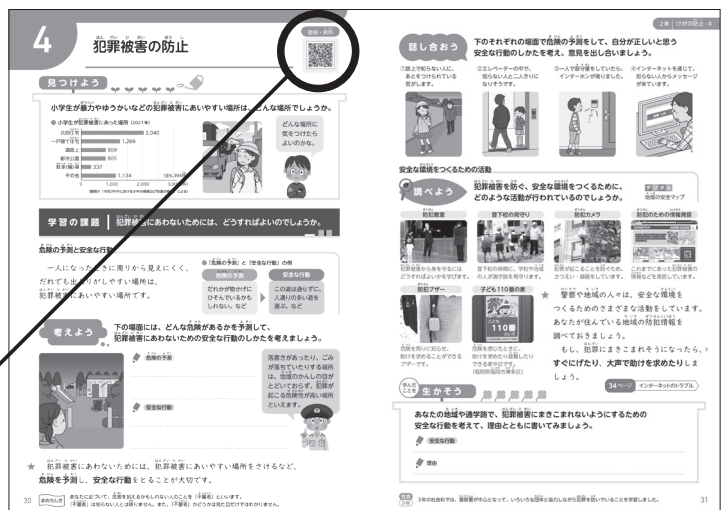
また、学習活動の指示文の前に、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークをつけることで、どのような活動をするのかを明確に示しました。

② 二次元コードの掲載

学習の補足となる資料や、現代的課題に即した資料や動画を、二次元コードからアクセスして見られるようにしました。

授業の時間以外にも児童が自発的に見てみたくなるよう、掲載資料を精選しています。

学習を深める
動画や資料を掲載



(p.30 ~ 31)

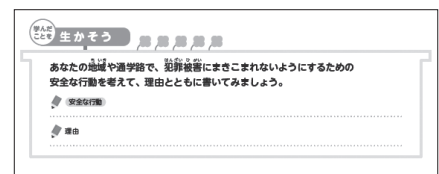
③ 自分の健康課題に気づき、解決する工夫

学習の導入として「見つけよう」を毎時間設け、児童がこれから学ぶ内容を自分のこととして捉えられるように、これまでの経験をもとに考えたり、自分の生活を振り返って健康課題に気づいたりできる活動を設定しています。

また、毎時間の終わりには、「学んだことを生かそう」の活動を設定し、学習した知識を実生活や実社会で活用できる実践力を育てられるようにしています。



(p.30)

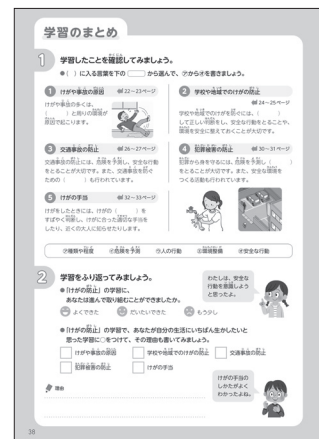


(p.31)

④ 章末ページ 「学習のまとめ」

各章末に「学習のまとめ」を設定しました。学習した内容を選択式の問題で確認することで、学習内容の定着を図ります。

また、学びに向かう態度を自分で評価し、新たな課題を設定することで、学習後も継続的な学びができるようにしました。

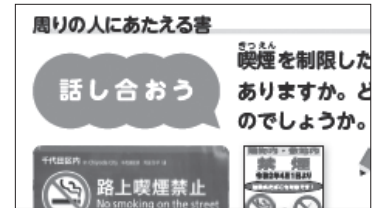


(p.38)

言語活動を重視し、児童が他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしています。(協働的な学び)

⑤ 協働学習の設定

児童が話し合っている活動や、自分の考えを他者に伝えたり、説明したりする活動を数多く取り入れ、「話し合おう」「学んだことを生かそう」のマークで示しました。



(p.55)

⑥ 記述する活動の充実

資料をもとにただ話し合うだけではなく、自分の考えを記述して伝える活動を豊富に設定しました。表現力の育成を目指し、記入するスペースは可能な限り広くとり、児童が自分の考えを十分に表現できるようにしました。



(p.55)

2 自己実現の喜びを実感できる教科書

「何のために保健を学習するのか」をテーマにした読み物を通して、児童が保健の学習の必要性や意義に気づき、自発的に取り組める工夫をしています。

① 巻頭ページ 「わたしと健康」

巻頭ページでは、児童に人気のあるスポーツ選手やクリエイターから、「わたしと健康」というテーマで小学生に向けたメッセージをいただき、掲載しました。児童に、健康が「夢をかなえる力(自己実現)につながる」ということを実感してもらうための工夫です。

② 巻頭ページ 「どうして保健を学ぶのかな。」・章扉

「どうして保健を学ぶのか」というテーマを学習内容に沿って、ストーリー形式でわかりやすく示すことで、保健を学習する意義や大切さに気づけるようにしました。これから始まる保健の学習への興味・関心を引き出し、目的意識をもって学習に取り組めるような内容となっています。

また、ストーリーを通して、周りの人と相談し、一緒に学ぶ様子を提示しています。

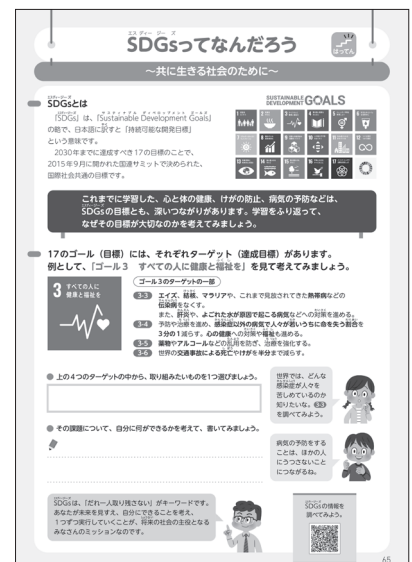


(p.2)

③ 巻末ページ 「SDGs ってなんだろう ～共に生きる社会のために～」

巻末にSDGsの特集ページを掲載しました。SDGsの17の目標の中から、保健の学習内容に関連した目標を紹介し、自分が取り組んでみたい課題を選択して自分にできることを考える活動を設定しました。

世界で起きている事象に目を向け、児童一人ひとりが参加者意識をもって、保健の学習内容を生かし、自分で考え行動していけるようにと願いを込めて作成しています。



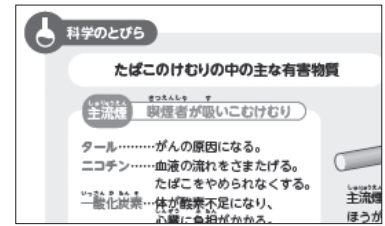
(p.65)

児童が自分の興味・関心に応じて、課題について考えたり、調べたりすることができるように配慮しています。

④ コーナー

「科学のとびら」「この人に聞く」

学習内容の理解を深める科学的な資料を「科学のとびら」コーナーとして位置付けました。また、児童が生活と結び付けて、学習内容を身近なものとして捉えられるように、学習内容に関連する職業や専門家の人の話を「この人に聞く」コーナーとして掲載しました。



(p.55)

⑤ 資料ページ

「広げよう・深めよう」

学習内容に関連した現代的資料をまとめて掲載しつつ、単に資料の提示にとどまることのないよう、キャラクターの問いかけを工夫し、自分ごととして課題を捉え、「さらにもっと知りたい」と継続的に学ぶ姿勢を養える発問を設定しました。



自分の体調の変化に早く気づくことが大切なんだね。



(p.46 ~ 47)

3 今必要な知識・技能が身に付く教科書

児童を取り巻く様々な社会状況や生活習慣の変化に応じた課題を、積極的に取り上げています。

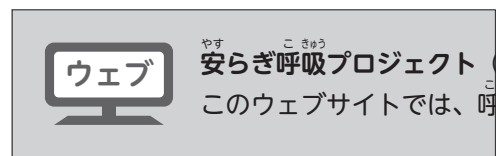
① 現代的課題に関する情報

教科書編集委員と共に、現代的な課題に向き合い、これから生きる児童のために必要な課題を精選し、配慮をもって情報を掲載しました。

- 基本的な生活習慣 (運動習慣、インターネットと依存症)
- 生命の安全教育 (自分の体の守るところ、他者との距離感、SNSでの被害)
- 防災 (災害時の行動、日頃の備え)
- インターネットトラブル (犯罪被害の防止、相談窓口)
- 感染症対策 (新型コロナウイルス感染症、感染症予防、早期回復)
- がん教育
- 薬物乱用の防止 (医薬品の正しい使用、啓発活動)

② ウェブサイトの紹介

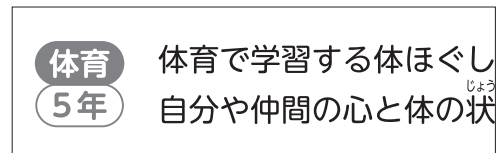
インターネットを活用する際の注意事項を記したうえで、児童がより学びを深めたい内容を主体的に調べられるよう、調べ学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。



(p.17)

③ カリキュラムマネジメント

他教科との学びの関連性を教科書内で示し、教科横断的に学びを理解し整理できるようにしました。



(p.15)

2 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	わたしと健康	●スポーツ選手やクリエイターが児童に向けて健康について語る文章を掲載し、健やかな体を養うための自主及び自律の精神に気づかせ、保健について主体的に学ぶ意欲をもてるようにしました。(第1号・第2号)	表2・p.1
	どうして保健を学ぶのかな。	●保健を学ぶ意義をストーリー形式で伝えることで、なぜ学ぶのかを理解し、自分に必要な知識を身に付けるという自覚をもって主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1号)	p.2
	学習の進め方を知ろう。	●教科書の使い方及び学びに向かう態度や話し合い活動の具体的な行い方を紹介することで、自他の意見を尊重し、協働しつつ主体的に学びを深められるようにしました。(第1号・第3号)	p.4~5
	自分で調べて伝えよう	●情報収集の方法や情報の質を見極めることの重要性を伝え、公正な判断力を身に付けられるようにし、得た情報を自分の生活に生かしたり周囲の人と共有したりすることの意義を理解できるようにしました。(第1号)	p.6
各章	章扉	●その章の学習内容を学ぶ意義をストーリー形式で伝え、なぜ学ぶのかを理解し、健康課題への自覚をもって主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1号)	p.7・21・39・53
	全体	●健康・安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p.7~64
		●調べたり話し合ったりしながら課題解決をする学習活動を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号・第3号)	p.7~64
		●豆知識、他教科や他学年の学習との関連、外部のウェブサイトなどを紹介することで、学習内容に関連した幅広い知識を身に付けられる機会を増やすようにしました。(第1号)	p.7~64
		●イラストや写真において、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配置し、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を意識付けるようにしました。(第3号)	全体
		●「この人に聞く」コーナーなど、専門家が伝える形式を取り入れることで、学習に広がりをもたせると同時に、保健の学習に関係深い職業を知り、勤労を重んずる態度も養えるようにしました。(第2号)	p.15・23・25・33・44・49・51・57・59・63
	5年 心の健康	●多くの人に支えられて自分が成長していること、自分も他者の成長のための力や糧になっていることに気づき、豊かな情操を培い、自他の敬愛と協力の精神を重んずる態度を養えるようにしました。(第1号・第3号)	p.7~19
		●自分と相手の双方の感じ方を大切にしたコミュニケーションの在り方を提示することで、周囲とよりよい関係を築き、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第1号・第3号)	
	5年 けがの防止	●けがを 방지、命を守るための行動や環境整備について学ぶなかで、生命を尊ぶ態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号・第4号)	p.21~37
		●自転車の安全、ながらスマホ、インターネットのトラブルなど現代的課題を提示し、生命を尊ぶ態度を養い、公共の精神に基づき、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号・第4号)	
6年 病気の予防	●新型コロナウイルス感染症、がん、生活習慣病、依存症など現代的な健康課題に関する科学的な理解を深めることで、広く知識を身に付け、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第1号・第4号)	p.39~63	
	●地域で様々な人が健康や安全を守る仕事をしている様子を掲載し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)		
学習のまとめ	●学習したことを振り返り、自分の生活に最も生かしたいと思ったことを考えさせることで、自分の生活改善についての意識を高め、自律の精神を養えるようにしました。(第1号・第2号)	p.20・38・64	
巻末	SDGs ってなんだろう	●国際社会における共生の視点に気づき、社会における規範意識や生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号・第4号・第5号)	p.65

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① ユニバーサルデザイン

- 全ての文字に、読みやすいユニバーサルデザイン (UD) フォントを用いています。
- 文節の切れ目で改行することを原則とし、読解しやすくしています。
- カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現において専門家の指導のもと点検して編集をしています。
- 各単元のまとめとなる基礎的・基本的事項は文頭に★マークを付けて示したほか、大事な用語や文は太字で目立たせ、目に入りやすいようにしています。
- 文や資料が混同しないよう、間に余白を設けたり、線を引いたりしています。
- 教科書バリアフリー法の趣旨に基づき、拡大教科書を文字の大きさ別に複数種類発行いたします。また、デジタル教科書を制作・発行します。

② 造本上の工夫

- 表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢に仕上げています。
- 本文は書き込みやすく、不透明度を向上させた裏写りしない紙を採用しました。

編修趣意書

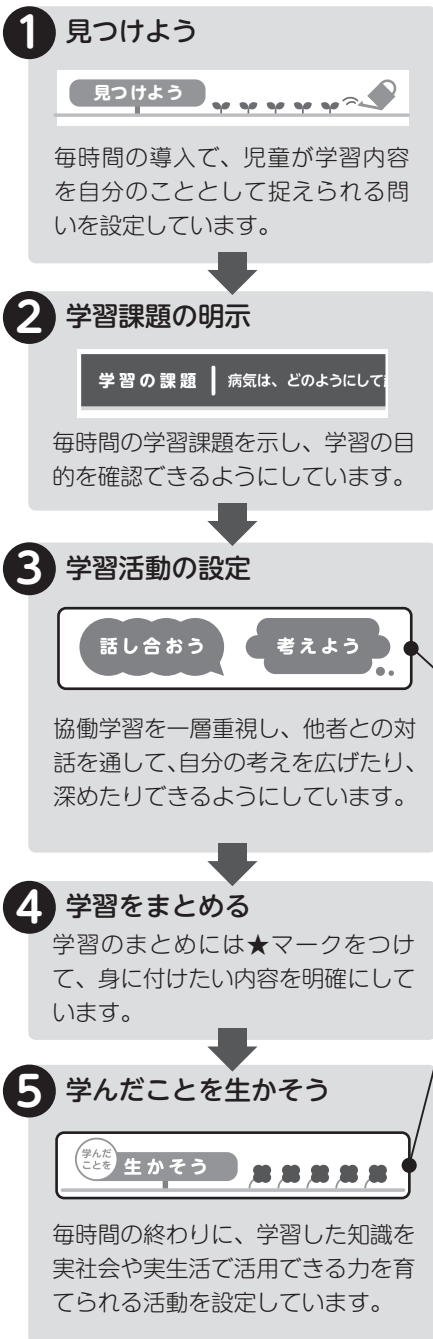
(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-229	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 510	小学保健 5・6年		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びを実現することができる教科書

「主体的・対話的で深い学び」を通して、自分の健康課題を見つけ、その解決に向けて自ら考える力を育成できるように、学習の流れがわかりやすい構成にしました。



学習の流れが一目でわかる紙面構成

1 病気の起こり方

1 見つけよう
あなたが知っている病気に、○をつけましょう。また、このほかに知っている病気はありますか。
インフルエンザ 食中毒 ぼく
かたまりかぜ 水ぼうそう 麻疹
ほかにもある病気を教えてください。

2 学習の課題 | 病気は、どのようにして起こるのでしょうか。

3 話し合おう
わたしたちは、どんなときにかぜをひくのでしょうか。今までにかぜをひいたときのことを思い出してみましょう。

4 考えよう
かぜをひく原因は、1つでは足りないんだね。
かぜをひく原因は、いろいろな原因が関係しているんだね。
かぜをひく原因は、いろいろな原因が関係しているんだね。
かぜをひく原因は、いろいろな原因が関係しているんだね。

5 生かそう
下の欄では、どんなことがかわって、真中になってしまったのでしょうか。病原体、体のていこうか、生活のしかた、環境のうちのどの原因が関わっているか、書いてみましょう。

(p.40 ~ 41)

- ◎記述する活動の充実
表現力の育成を目指し、自分の考えを記述して伝えたり説明したりする活動を数多く設定しました。
- ◎「学習のまとめ」ページ
学習内容を選択式の問題で確認し、知識の定着を図ります。また、学びに向かう態度を自分で評価し、新たな課題を設定することで、学習後の活動へと展開できるようにしました。
- ◎学習を導くキャラクター
児童の思考に寄り添った疑問、考えを広げる視点、課題解決に結び付くヒントやポイントなどを提示しました。

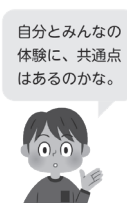
学習のまとめ

1 学習したことを確認してみましょう。
★マークの学習内容を○で囲んで、学んだことを確認しましょう。

2 学習を振り返ってみましょう。
★マークの学習内容を○で囲んで、学んだことを確認しましょう。

3 学習したことを確認してみましょう。
★マークの学習内容を○で囲んで、学んだことを確認しましょう。

(p.20)



2 意欲的で自発的な学びを促す教科書

「何のために保健を学習するのか」ということに対して、児童が見通しをもって取り組めるように、巻頭・巻末ページや章扉、単元内の資料を工夫し、学習内容を充実させました。

① 巻頭特集ページの工夫

巻頭「わたしと健康」



(p.1)

児童に人気のスポーツ選手やクリエイターから、保健を学ぶ小学生に向けてのメッセージを掲載しています。健康でいることが日々の生活の充実や夢をかなえる力になることを実感できるようにしました。

保健を学ぶ意欲を高める扉の漫画



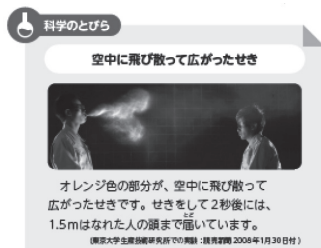
(p.2)

(p.7・21・39・53)

巻頭漫画では、保健を学習する意義や大切さを伝えて、これから始まる学習への興味・関心を引き出します。章扉では、児童が学習内容を身近に感じられるように、これから学習する内容をストーリー形式で示しました。

② 具体的な解説が満載の単元ページ内のコーナー

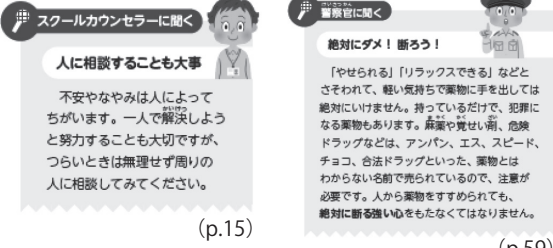
科学のとびら



(p.42)

学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載しました。根拠をもって考える力を身に付けることができるようにしています。

この人に聞く



(p.15)

(p.59)

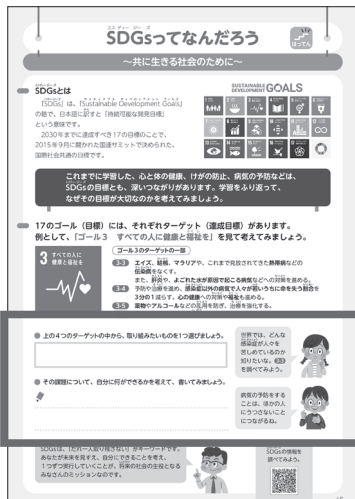
学校医や警察官、スクールカウンセラーといった、保健に関連する職業や専門家の人の話を掲載しました。なぜこの学習が大切なのか、気づきを促します。

③ 共生社会の実現に向けたSDGs資料の掲載

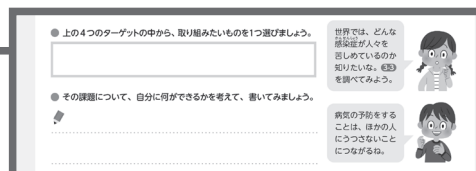
巻末「SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～」

巻末ページには、SDGsについて学びを深める資料を掲載しました。保健の学習内容に関連したSDGsの目標を紹介し、課題の中から自分にできることを考える活動を設定しています。

すべての人が豊かで満たされた生活を送ることができるよりよい世界を目指して、児童一人ひとりが自分には何ができるのかを考え、行動していくことができる力を育てるようにしました。



(p.65)



3 現代的な課題への対応を重視した教科書

① 健康・安全に関する現代的課題の掲載

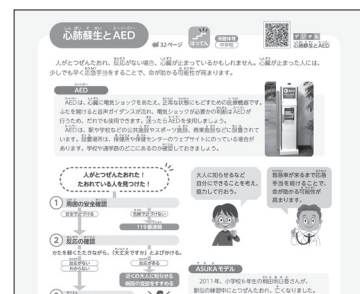
情報化社会の発展や生活習慣の乱れなど、社会状況の変化に応じた健康・安全に関する課題を取り上げています。児童が自分の身近にある課題に気づき、関心をもって取り組めるように、資料の掲載を精選しました。

▼掲載資料例

運動と健康の関連	運動不足に気をつけよう	p.49
	運動不足と生活習慣病	p.52
食に関する内容を重視	生活習慣病と食の関係	p.49
	むし歯や歯ぐきの病気と食の関係	p.51
情報社会への対応	インターネットを使うときの注意	p.5
	自分で調べて伝えよう	p.6
	「ながらスマホ」は危険！	p.29
	インターネットのトラブル	p.34
	インターネットと依存症	p.61
共生社会への対応	気持ちを大切にコミュニケーション	p.18
	自分と人とのきより感	p.19
	SDGs ってなんだろう ～共に生きる社会のために～	p.65
新しい感染症への対策	せきエチケット	p.42
	予防接種の大切さ	p.44
	新しい感染症 ～新型コロナウイルス感染症～	p.46
	病気から早く回復するには	p.47
その他	不安やなやみと呼吸	p.16
	特別インタビュー ～緊張や不安と向き合う～	p.17
	心肺蘇生とAED	p.35
	自然災害から身を守る	p.36-37
	「がん」のことを知ろう	p.52
	医薬品の正しい使用のしかた	p.60



自分と人とのきより感 (p.19)



心肺蘇生とAED (p.35)



インターネットと依存症 (p.61)

◎児童の学習を深める問いかけ

より深い学びを促すキャラクターの問いかけや補足について、別にデザインしたふきだしで掲載しています。

児童の自発的な学習を促す内容となっています。

② 効果的に活用できるデジタルコンテンツ

学習内容に関連する動画や資料、ウェブサイトの情報などを豊富に掲載しました。児童が自分の興味・関心に応じて、課題について考えたり、調べたりすることができるように配慮しています。

デジタルマーク

デジタル

各ページに二次元コードを掲載し、必要に応じてアクセスできる資料を紹介しています。動画や画像、外部リンクなど、児童の学びを助け、深める内容を充実させました。

関連する学習内容の近くにデジタルマークを設置することで、資料を扱うタイミングがわかりやすいように工夫しています。

ウェブサイトの紹介

ウェブ

学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。

▼デジタルマーク 動画や資料の例

体ほぐしの運動 (動画)	p.14
なやみの相談窓口 (資料)	p.16
車の死角と停止きより (動画)	p.29
車の内輪差 (動画)	p.29
けがの手当 (動画)	p.33
手の洗い方 (動画)	p.41
正しく歯をみがこう (資料)	p.51
がん検診の対象となる年齢 (資料)	p.52
喫煙状況の変化 (資料)	p.55
危険ドラッグに注意! (資料)	p.59

項目別特色

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第2条「教育の目標」の達成に向けて、健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体と自主自律の精神を養い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育む学習ができるように、紙面を編修しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領総則の基本方針である「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」に沿って、保健の「見方・考え方」を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成ができることを目指し、編修しました。 ●小学校学習指導要領体育編に示される内容について、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得を図り、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」と相互に関連させて高める学習ができるように紙面を構成しました。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について、児童の発達段階や興味・関心に応じて身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結び付けることを目指して編集しました。児童が自ら学び、自ら考え、他者と協働する「生きる力」を養い、健康的なライフスタイルを確立できるように目指しています。 ●保健の内容について、系統性のある指導ができるように、小学校の保健の他学年の内容と関連を紙面で示しています。
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年において、学習指導要領に示された内容が所定配当時間内で指導できるように各単元を配列しています。 ●1単位時間あたり見開き1ページを基本の構成として、毎授業が必ず見開きの左ページから始まる配置にしています。 ●各単元の学習内容は、必要かつ十分なものとなるよう精選しています。学習内容以上に資料や知識を確認したい場合は、各単元に設定したデジタル資料で確認することができます。 ●各単元内の課題解決に向けた学習活動は、授業時間を考慮し、時間内に取り組めるように設定しています。 ●6年「病気の予防」において、章扉を2箇所を設定し、めりはりをつけた学習を行いやすいようにしました。
知識・技能の習得に関する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元のまとめとなる基礎的・基本的事項は文頭に★マークを付けて示したほか、大事な用語や又は太字で目立たせ、目に入りやすいようにしています。 ●各章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確実な定着、学びに向かう態度の確認、自己の生活と関連付けて実践する力の育成ができるようにしています。
思考力・判断力・表現力の育成に関する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元冒頭の「見つけよう」で自分の健康課題を発見し、習得した知識を活用して考える活動や、毎時間の最後に自分の生活にあてはめて考える活動「学んだことを生かそう」を設定することで、課題解決学習を通じて思考力・判断力・表現力を総合的に育めるようにしています。 ●伝え合う活動を重視し、全単元において、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入欄を豊富に設けています。 ●他教科、他領域、他学年での学習との関連を随所に示し、思考力・判断力・表現力を働かせるための横断的な学習を行いやすくしています。
学びに向かう力・人間性等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●各章ごとの扉に学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲や学びに向かう力を促進する工夫をしています。 ●各単元冒頭の「見つけよう」で自分の生活を振り返ったあとに「学習の課題」を確認することで、学習内容をより自分ごととして捉えられるように構成しています。 ●各単元末の「学んだことを生かそう」で学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できる構成にしています。
主体的・対話的で深い学びを実現する課題解決学習を促す工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう、各単元を必ず「1自分の生活を振り返る」「2学習の課題をつかむ」「3課題解決に向けて学習活動をする」「4学習をまとめる」「5自分の生活に生かす」の学習過程で構成しています。 ●初めに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから学習の課題を提示することで、児童が関心を持って主体的に学習に取り組めるようにしています。 ●「話し合おう」という学習活動や「学んだことを生かそう」の項目で他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促しています。 ●「広げよう・深めよう」や各単元に設定されたデジタル資料で、児童が興味・関心に沿って学習内容についてより深く学べるようにしています。
評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●各活動で記入欄を多く設定し、評価に活用できるようにしました。 ●章の終わりに「学習のまとめ」として自己評価問題や活用問題を設定し、評価に活用できるようにしました。
教育のICT化に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●理解を促進し、学習効果や効率を向上するなどの目的から、デジタルコンテンツを豊富に用意し、対応する箇所に「デジタル」マークを示しました。 ●教科書の紙面に二次元コード（QRコード）を配置し、関連した動画などのデジタルコンテンツを手軽に見ることができるようにしています。 ●調べ学習に役立つウェブサイトを随所で紹介しています。 ●学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や、縮ふりがななどの機能があり、特別支援教育にも活用できます。 ●情報活用や情報モラルに対応した活動や資料を改訂し、掲載量を増やしています。
現代的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●単元内のコーナーや資料ページ「広げよう・深めよう」などで、運動、食育、睡眠、防犯、防災、情報モラル、ICT機器の活用と健康、「性」についての悩み、相手の同意を得るコミュニケーション、SDGsなどの今日的な課題に対応した情報を豊富に掲載しました。児童の発達段階に応じて、説明する内容への配慮、調整をしています。 ●運動と健康との関連を重視し、各学年で必ず取り扱っています。 ●防犯について、高学年の「けがの防止」の単元だけでなく、中学年の巻頭でも取り扱っています。 ●キャリア教育やオリンピック・パラリンピック教育の観点から、スポーツ選手やクリエイターが語る「わたしと健康～保健を学びなさんへ～」というページを巻頭に設けています。

項目別特色

他教科・他領域との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●体育科の運動領域をはじめ、理科、社会科、家庭科、道徳科といった他教科・他領域の学習との関連が図れるように、他教科との関連をマークで示しました。 ●各学年で体育科の運動領域「体ほぐしの運動」を紹介しています。
家庭や地域社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●保健を学習する意義やねらい、学習内容を「保護者へのメッセージ」として裏表紙に掲載しました。 ●様々な活動に従事する人々による解説「この人に聞く」や、地域で実施されている保健に関わる取り組みの様子を写した写真や資料を掲載し、地域社会との関わりを考えることができるようにしています。 ●「家の人」とのコミュニケーションを図る内容を、各学年に掲載しました。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●専門用語と、当該学年配当漢字および当該学年以降に学習する漢字については、初出だけでなく都度ふりがなを付け、児童の読みの負担を軽減しています。 ●熟語については、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、当該学年以降の漢字をふりがな付きで使用しています。 ●イラストや写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の書体や大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。 ●全ての文字に、読みやすいユニバーサルデザイン（UD）フォントを用いています。 ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現について専門家の指導のもと点検して編集をしています。 ●文や資料が混同しないよう、間に余白を設けたり、線を引いたりしています。 ●教科書バリアフリー法の趣旨に基づき、拡大教科書を文字の大きさ別に複数種類発行いたします。
判型	<ul style="list-style-type: none"> ●使いやすさと見やすさを考慮し、A4判を採用しています。 ●写真やイラストを多く使用し、児童の興味・関心をひきやすくしたほか、記入欄を大きくして、児童が自分の考えを十分に表現できるようにしています。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙、本文ともに環境に配慮して作成された紙を使用しています。 ●本文は不透明度を向上させた紙を使用し、裏写りせず見やすくなるようにしています。 ●製本には針金を使用せず、環境に配慮しています。 ●表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢に仕上げています。 ●印刷には植物油インキを使用しています。

2 対照表

学年	図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
5年	1章 心の健康	・G 保健（1）ア、イ	7～20	全3時間
	1. 心の発達	・（1）ア（ア）、イ	8～11	1
	2. 心と体のつながり	・（1）ア（イ）、イ	12～13	1
	3. 不安やなやみなどへの対処	・（1）ア（ウ）、イ	14～19	1
	2章 けがの防止	・G 保健（2）ア、イ	21～38	全5時間
	1. けがや事故の原因	・（2）ア（ア）、イ	22～23、28	1
	2. 学校や地域でのけがの防止	・（2）ア（ア）、イ	24～25	1
	3. 交通事故の防止	・（2）ア（ア）、イ	26～29	1
	4. 犯罪被害の防止	・（2）ア（ア）、イ	30～31、34	1
	5. けがの手当	・（2）ア（イ）、イ ・内容の取扱い（7）	32～33、35	1
◆自然災害から身を守る【発展】	・（2）ア（ア）、イ	36～37	—	
6年	3章 病気の予防1	・G 保健（3）ア、イ	39～52	全4時間
	1. 病気の起こり方	・（3）ア（ア）、イ	40～41、45	1
	2. 感染症の予防	・（3）ア（イ）、イ ・内容の取扱い（7）	42～44、46～47	1
	3. 生活習慣病の予防①	・（3）ア（ウ）、イ ・内容の取扱い（9）	48～49、52	1
	4. 生活習慣病の予防②	・（3）ア（ウ）、イ	50～51	1
	4章 病気の予防2	・G 保健（3）ア、イ	53～64	全4時間
	5. 喫煙の害	・（3）ア（エ）、イ	54～55	1
	6. 飲酒の害	・（3）ア（エ）、イ	56～57、61	1
	7. 薬物乱用の害	・（3）ア（エ）、イ ・内容の取扱い（8）	58～60	1
8. 地域の保健活動	・（3）ア（オ）、イ	62～63	1	
			合計	16時間

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-229	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 510	小学保健 5・6年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
16	不安やなやみと呼吸	2	G保健(1)心の健康 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。	0.5
19	自分と人とのきより感	2	G保健(1)心の健康 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (イ) 心と体には、密接な関係があること。 (ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。	1
28	自転車に安全に乗ろう	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.5
29	「ながらスマホ」は危険!	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.5
33	熱中症に注意	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。	0.25
34	インターネットのトラブル	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	1
35	心肺蘇生とAED	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。	1
36-37	自然災害から身を守る	2	G保健(2)けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	2
46	新しい感染症 ～新型コロナウイルス感染症～	2	G保健(3)病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	1
47	自分の「平熱」を知っておく	2	G保健(3)病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	0.25
52	「がん」のことを知ろう	2	G保健(3)病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.75
52	運動不足と生活習慣病	2	G保健(3)病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.25
55	たばこのけむりの中の主な有害物質	2	G保健(3)病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.25

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
57	飲酒を始めた年齢とアルコール依存症	2	G保健（3）病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.25
60	医薬品の正しい使用のしかた	2	G保健（3）病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.5
61	インターネットと依存症	2	G保健（3）病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	1
65	SDGs ってなんだろう～共に生きる社会のために～	2	G保健（2）けがの防止 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。 G保健（3）病気の予防 ア 病気の予防について理解すること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	1
合計				12

（「類型」欄の分類について）

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容